

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2001-248209 (P2001-248209A)  
 【公開日】平成 13 年 9 月 14 日 (2001.9.14)  
 【出願番号】特願 2000-62548 (P2000-62548)  
 【国際特許分類】

**E 0 3 D 9/08 (2006.01)**

**A 4 7 K 13/30 (2006.01)**

【F I】

E 0 3 D 9/08 Z

A 4 7 K 13/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 7 日 (2007.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 多機能便座及びその機能が便器と一体化した装置であり、暖房便座の熱源となる第 1 のヒータ及び局部洗浄用の温水を生成する熱源となる第 2 のヒータと、装置周辺における人体の有無及び便座への人体の着座の検出を行う人体検知手段と、前記第 1 のヒータ及び第 2 のヒータの通電制御を行う制御部と、を備え、該制御部は、少なくとも一方のヒータを所定の設定温度に維持する第 1 の制御モードと、非使用時は前記設定温度よりも低い温度に維持すると共に、前記人体検知手段の信号を検出した場合に、前記所定の設定温度に到達するように加熱する第 2 の制御モードと、を選択的に実行する構成の温水洗浄装置において、  
前記所定の設定温度以下の温度の中から温度を選択する待機温度調整手段を設け、  
前記制御部は、前記待機温度調整手段によって選択した温度を前記非使用時に維持する設定温度として前記第 2 の制御モードを実行することを特徴とする温水洗浄装置。

【請求項 2】 前記制御部は、第 2 の制御モードの機能を働かせるかどうかの選択手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の温水洗浄装置。

【請求項 3】 前記人体検知手段が、電波の送信手段と、該送信手段によって送信された電波の反射波を受信する手段と、受信手段で受信した信号の周波数と送信手段によって送信された信号の周波数との差分を求めてその差分に応じた差分信号を生成する手段と、から構成される人体検知センサユニットであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の温水洗浄装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段および作用・効果】上記課題を解決する為になされた請求項第 1 項記載の発明は、多機能便座及びその機能が便器と一体化した装置であり、暖房便座の熱源となる第 1 のヒータ及び局部洗浄用の温水を生成する熱源となる第 2 のヒータと、装置周辺における人体の有無及び便座への人体の着座の検出を行う人体検知手段と、前記

第 1 のヒータ及び第 2 のヒータの通電制御を行う制御部と、を備え、該制御部は、少なくとも一方のヒータを所定の設定温度に維持する第 1 の制御モードと、非使用時は前記設定温度よりも低い温度に維持すると共に、前記人体検知手段の信号を検出した場合に、前記所定の設定温度に到達するよう加熱する第 2 の制御モードと、を選択的に実行する構成の温水洗浄装置において、前記所定の設定温度以下の温度の中から温度を選択する待機温度調整手段を設け、前記制御部は、前記待機温度調整手段によって選択した温度を前記非使用時に維持する設定温度として前記第 2 の制御モードを実行することを特徴とする。